

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 10月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	地元小中学生との交流。ボランティアの方々の来館。自治区との合同防災訓練。祭り見物への便宜等地域との交流も増え施設のあるがままの姿を見て頂いているが認知症への理解に於いては積極的に発信出来ていない現状がある。	外見やメディア発信情報による認知症理解ではなく、一人の人間として普通に生きておられる姿に接して頂く機会を設け認知症理解に繋げていく。	外部主導の接触のみに頼らず当方よりも交流の機会が持てる催しを開催し参加、協力を発信していく。イベントありきの交流ではなく人と人々がゆっくり過ごせるような機会、時間の提供を行っていく。	6ヶ月
2	49	昨年も目標に掲げ外出機会を増やし入居者様に喜んで頂ける様に努めた。新たに喫茶店で誕生会を行ったり、広場に集まり花火を楽しんだりもしたが入居者様の状態差が大きく出来る事と出来ない事、満足の度合いに差が感じられる。	外出、外食の機会を一律に考えず、入居者様各々の希望や想いに沿った援助を行っていく。	外出時の計画を綿密に立て全号館での協力体制を強化していく。また御家族とも連絡を密にし各々の想いを伝え協力を仰いでいく。	6ヶ月
3	8	長年経験を積んだ職員が多く介護現場での実務に於いては不安を感じていないが、日常生活自立支援事業や成年後見人制度をはじめ新たな制度やまた制度の変更点、介護に関わる法律等を全職員が十分には理解出来ていない。	現場での実務のみを仕事と捉えず、使用出来る制度や守るべき法律等にも精通しトータル的な支援を目指していく。	個別学習の奨励はもとより、研修や勉強会を開催し施設全体としての理解度を高めていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。